

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2025.12.20

事業所名：放課後等デイサービス こばんはうすくら さいたま土呂教室

対象人数（保護者）21人 回答者数 20人 回収 95.2%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	2			狭い教室の中でもパーテーション、机を利用して児童の特性に合わせて場所を確保している。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1			配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19			1	整理整頓されている中で、集中力が欠けないよう過ごしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	2			上記同様
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1			特性に合わせた支援ができるよう、子どもの理解、対応方法の技術的な部分をより学んでいきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20				引き続き実施していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1			・ご家庭や学校、他の情報を共有し、目標に向け子ども一人ひとりに合った支援計画書の作成をします。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1			・保護者様とお会いする機会が少ないので、帰りの申し込み、ラインなどをを利用して情報共有がでければと思います。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1			引き続き実施します。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	3			引き続き実施します。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	5	5	児童館、図書館に行くことはありますが、地域の子どもと関わりがなっています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20				引き続き実施します。
保護者への説明等	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20				引き続き実施します。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	3			保護者会だけではなく、保護者の研修も実施できればと思います。
	15 曜頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解がでていると思いますか。	18	1	1		こばんはうすでの子どもの様子や、家や学校の様子を共有しています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20				面談ご希望の際はご連絡いただいています。モニターでの見学も可能です。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19		1		子どもの成長は活動、こばんはうすの生活の中で育みます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	4			引き続き、実施したいと思います。 ご希望があれば、卒業してもぜひご参加いただきたいです。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2		1	何かありましたらご連絡いただけます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1			いつでもお気軽にご連絡ください。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20				・こばんだより、ライン、インスタグラムなどを利用し、今後の予定や子どもの様子等情報を共有しています。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	2			引き続き対応していきます。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18		1	1	職員研修は都度実施しています。
	24 事業所では、他必要な訓練が行われていますか。	17	1		2	引き続き実施します。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていますか。	17			3	引き続き、避難訓練、地震等いろいろなバージョンでの訓練を実施します。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかに連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18		1	1	怪我や熱等のご連絡は早急にしていますが、再度徹底していくようにします。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	20				安心、安全基地になり、こばんはうすを卒業しても気軽に遊びに北よと言ってもらえる場所、人になりたい。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	5			メリハリがある教室だと思います。楽しいこともたくさんある中で、集団の中でのルールを守ることも伝えています。
	29 事業所の支援に満足していますか。	17	3			満足してもらえるよう、引き続き子どもの将来も視野に入れ支援していきたい。

従業者向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・職員の配置数は適切である。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・音に敏感な児童もいる為、一部屋個室があると安心して過ごすことが出来るのではないか。同じ教室の中でパーテーションや区切りを利用している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・整理整頓がてきており、棚に何を何列に入れればいいかイラストで視覚的に分かりやすくなっている。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	・クールダウンのための個室があると更に良い。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	・振り返りを行い情報共有をしている。 ・学校送迎で共有をしきれない時もある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・毎年アンケートを実施している。 ・面談、保護者との会話の中で、こばんはうすへの要望を伺っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・毎月のミーティング、日々の振り返り等で意見を伝え合ったり話し合いの機会がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・法人内の任意研修と虐待防止研修等の義務研修があり、受講している。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・室内に掲示され誰でも確認することが出来る。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	・担当者会議を適正に行い、その児童の目標や様子について意見を出し合っている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・一人ひとりに合った支援方針、視覚化された一日の流れを提供している。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・職員が子どもと一緒にやってみたいことを立案し、長期休暇は特に実現、実施している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・季節ごとの行事を取り入れたり、子ども一人ひとりの得意を取り入れた様々な活動プログラムを入れている。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・小集団の療育の中に、必要に応じて個別活動をする場面がある。 ・一人ひとりが成長できるようなカリキュラムになる計画を立てたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・出勤時間の関係上、難しい時もある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・振り返りは毎日実施。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・モニタリング面談前に会議の中で児童の目標達成、課題等含め担当者会議を実施している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・モニタリング面談前に会議の中で児童の目標達成、課題等含め担当者会議を実施している。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	1	・該当ケースがある場合は必ず参加している。 ・余暇提供ではリラックスする時間、発達段階に合わせた動作を
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	子ども会議、選択活動での選択の機会を提供している。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	特別支援学校での様子を見学、情報共有することで支援内容を同じ方向で調整することもある。
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・特別支援学校からこばんはうすへ見学にいらしたり、電話での情報共有を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校からのお手紙、HUGやLINEの活用
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	・保護者会にて研修を受ける機会を設けている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	4	・小学校お迎え時、児童への挨拶はするが機会が少ない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・地域の子どもとの交流機会が少ないことが課題
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・保護者会にて研修を受ける機会を設けている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・保護者会にて資料、説明している。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・面談時に意向は確認している。子どもの最大の利益を優先考慮し、子どもの意思の尊重をもっとしていきたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	・必要に応じてモニター見学や電話相談を行っている。 ・施設のイベントにて両親、きょうだいも参加してもらっている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・保護者ボランティア（さくらそう）の会を継続し、お茶会や手芸等を通して保護者同士の繋がりを支援している。 ・児発・放デイの場面を超えて育児の悩みを相談したりできる場となっている。 ・保護者の方の居場所となれるよう、今後も継続していく予定。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・LINEやInstagramで子どもの普段の写真や動画を掲載し、保護者が気軽に見ることが出来るように発信している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・定期的に面談を行い、制度や子育てについて不安がないか確認している。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	・必要な避難訓練を実施している。 ・服薬に関しては保護者と共有している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・受診時、Dr.から指示書をいただき、こちらで提供するおやつ等の成分表を確認してもらっている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハット事案は全職員が目を通し、朝礼やミーティングで再発防止に向けた話し合いをしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・全職員対象で研修を行っている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・保護者への相談、報告は丁寧に行い、個別支援計画書に記載した上で実施している。